

島おこし協力隊ミッションミニコラム 18

「狩人ライフ」

8時ちょうどのあずさ2号で私は私はあなたから旅立ちます「違うか!」このフレーズで、「古っるう」なんて言ってる方も、まあまあ昔人かも…

あらためまして、鳥獣被害対策&ジビエ振興担当の藤原でございます。

シカトできません

いつものごとく、のっけから話が脱線してしまいました、それはさておき先日、ジビエ業界では有名な鳥取県若桜町にある獣肉処理施設「若桜29（にく）工房」へ視察と実技講習会に行つてまいりました。

主にシカ肉を取り扱っている施設なのですが、「猟師」「施設」「役場」が三位一体の協力体制において施設への搬入頭数が、な・なんと年間約3000頭!…規模が違います!!

われわれ上島軍勢はイノシシですが、シカトできません。



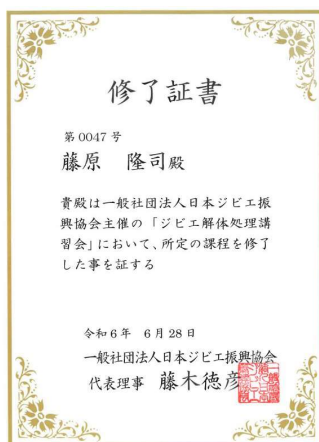
鳥獣対策ジビエ振興 藤原 隆司

不殺生戒（ふせつしようかい）

若桜町で行われた講習会はジビエプロフェッショナル向けの内容でしたが、雑学にも少し触れていましたので、一部ご紹介いたします。

ジビエといえばヨーロッパにおいては高級グルメとして食べられており、クリスマスなどのイベントにはジビエ料理（特にイノシシ肉）が欠かせない存在となっています。実は日本でも古くからジビエを食べる習慣があったそうです。諸説あるのですが、そもそも古代日本では家畜文化が普及せず日常的に狩猟で得たジビエ肉を食べていたみたいです。

それが仏教伝来により「不殺生戒」が説かれ、肉文化が広まる明治時代までの長い間、ジビエはおろかお肉自体を食べることが敬遠されてきた歴史がありました。



▲ジビエ処理プログラムの修了証「ゲットだぜ!」



先人の知恵ですね〜

花よりお肉??

肉食が禁忌となれば「食べた!」と思うのが人のさが。猪肉Ⅱばたん、鹿肉Ⅱもみじ、馬肉Ⅱさくら、鶏肉Ⅱかしわ、と隠語を使い「花の名前」を付けて市場に流通させていました。先人の知恵ですね。

腹が減っては戦ができぬ

暦の上では秋の到来、そうそう食欲の秋。まずは腹ごしらえをして何事にも挑まねば。先人の知恵に想いを馳せながら「ゆめしまぼたんバーガー」をガブリと頬張ってみてはいかがでしょうか?

まだまだ暑い日と熱い想いは続きます。今日も元気に山へ出猟だ!



▲ジビエハンター講師の資格を持つ女性猟師の講義 年間100頭以上の鹿を捕獲する凄腕!

ゆめしま未来塾



こんにちは! ゆめしま未来塾の辻村です。突然ですが、上島町に滞在されていた壁画アーティストの

「しまのひろば」壁画アートに参加!

「1/35少年」さんが、佐島にある「しまのひろば」に描いた壁画はご存じでしょうか。そのデザインの一部に、当塾の生徒が参加させていただきました! 写真の2人は、広報かみじま8月号のコラムで記事にさせていただいた「壁画プロジェクト」を進めている塾生です。色の作り方や筆の使い方など、さまざまなアドバイスをいただきつつ、いくつかのモチーフを描かせていただきま

した。デザインや建築系の専門学校への進学を希望している2人にとって、将来につながるよい経験になったのではないのでしょうか。「しまのひろば」を訪れた際には、ぜひともご覧になってください!



ゆめしま未来塾 辻村 大樹

ゆめしま寮

ゆめしま寮ハウスマスターの宮永です。寮生たちはゆめしま寮での生活にも慣れつつ無事1学期を終え、夏休みには帰省などでリフレッシュした後、全員が元気よく寮に戻ってきて2学期を迎えています。

夏休みに入っすぐに、寮生全員と個々に面談を行いました。「お茶会」と称して私たちが用意したお菓子をつまみながら1対1でリラックスした雰囲気で行い、学校生活の様子や寮生活での悩みごと、将来の目標や夢など、短い時間の中でも色々会話して、コミュニケーションを図ることができました。



▲愛媛県立三崎高等学校 未咲輝寮

また夏休み中の閉寮期間を利用して、県内の内子高校小田分校小田寮と三崎高校未咲輝寮を視察してきました。ハウスマスターや担当

者の方々と、それぞれの寮の様子や日々の生活状況、苦労していることなどいろいろな話を聞かせてもらい、とても有意義な視察となりました。参考となる点も多く、今後に活かしながらゆめしま寮の運営をより円滑に進め、寮生たちが上島町に来てよかったと思えるよう努めて参ります。



ゆめしま寮 宮永 雅宏

魚島離島留学

さざなみ寮のHMに着任して、お陰様で6か月を迎えました。今まで色々とお世話になり、ありがとうございます!

さて、季節もすっかり秋の気配となり、これから「食欲の秋」です。皆さんの好みの食材も出回る時期ではないでしょうか(今年こそはサンマの豊漁に期待!).

学校では、2学期も始まり留学生7名全員が帰寮して、魚島に賑わいが戻ってきました。夏休みを終え、久しぶりに見る留学生の姿は、全員

2学期に向けて・ハウスマスター(HM)奮闘記

が一回り大きくなり、大人びた印象で頼もしさを感じます。

これから上島町でも弓削高校や弓削商船の文化祭が始まる時期です。私も留学生と一緒に参加して、子ども達がこれからの進路を選択する際に参考になる機会になればと思います。

子ども達には、分野にこだわらず幅広い選択肢から自分が本当に興味を持ったことの知識を深めつつ自分の持つ可能性を信じて経験を積み重ねて行って欲しいと思います。



▲大木海岸で「SUP体験」 9/7



魚島離島留学 岩谷 弘一